

地震発生から3か月が経ちました。町内いたるところで災害ごみの搬出や家の片付けが行われています。

わが家では、まだ元日の地震後そのままの部屋がいくつもあります。まったく手つかずで足の踏み場もありません。片付けなければと思いながら身体と気持ちが悪く動きません。家の被害は柱がずれて内壁が剥がれ落ち、隙間だらけの玄関、雨漏り、基礎部分の露出、建具の損壊等いろいろありますが、日常の生活が送れることを幸せだと思っています。知り合いの業者に修理は依頼済みですが、「町長は一番後よろ」と言われる始末。わが家の復興の道のりも長そうです。

それから一番気になっていて、気にしないように努めていることがあります。お墓です。地震後しばらくして一度見に行きましたが、見るも無惨な状態でした。町内を見て回って想像はしていましたがショックでした。この2月に父と母の法要を予定していましたが、それも中止。お墓と仏壇をなんとかしようと思いつつ、忙しい日常でごまかしています。

町では、4月中旬から家屋の公費解体を予定しています。また、被災者生活再建支援制度に町独自の支援を追加しました。役場1階に相談窓口を設けております。なにかと手続きが煩雑で時間を要することが多くあり、町民の皆様にはご苦労をお掛けしますが、できることから前に進んで下さい。

私も週末は休みを頂き、家の片付けをしたいと思いません。ご先祖様、もう少しご辛抱下さい。合掌